

12月3日から9日は 障害者週間です ～考えてみよう！SDGsと障がい者～

「障害者週間」は、国民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会や経済、文化、その他あらゆる分野に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、障害者基本法に定められています。

全ての人が平等に安心して暮らせる社会を目指し、2030年までに全世界で達成を目指すSDGs（持続可能な開発目標）。町でも、SDGsを取り入れた第5次巨理町総合発展計画を指針として、さまざまな取り組みが進められていますが、SDGsの目標の中で、障がいを抱える方について明記されているものがいくつかあります。障害者週間をきっかけに、SDGsが障がいを抱える方にどう関わっているのか、また、自分たちに何ができるのか、考えてみませんか？

SDGs全体の目標

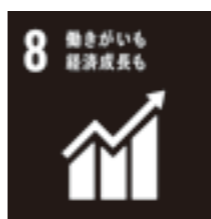
SDGsが目指すのは、経済成長や社会問題の解決、環境の保全などが実現された持続可能な社会です。自分たちが身近な場所から考え、行動できるように、障がいを抱える方や貧困層、女性などの弱い立場に置かれやすい人々を「誰一人として残さない」ようにターゲットとして設定し、社会の改善を図っていきます。

SDGsの中の障がい者に関する目標



目標4 質の高い教育をみんなに

教育における格差を無くし、全ての人が平等に質の良い教育を受けられるようにすることを目標としています。障がいを抱える方でも不自由なく安心して教育を受けられる環境を整えることが言及されています。



目標8 働きがいも経済成長も

障がいを抱える方を含む全ての男女が、完全かつ生産的な働きがいのある、人間らしい仕事ができるよう取り組みが行われています。障がいによって、できない仕事や給料が低くなる仕事などといった格差を無くし、全ての人が安心して働く事が出来る社会を目指しています。



目標11 住み続けられるまちづくりを

障がいを抱える方が公共交通機関や公共スペースを不便なく利用できるようにさまざまな取り組みが行われています。また、公共施設や電車、公園のベンチなどでも、障がいを抱える方を含むすべての方が利用しやすいよう、バリアフリー化や配慮されたスペースの設置が推進されています。

SDGsの目標達成のために自分たちはどのようなことをすれば良いのでしょうか。スケールが大きすぎて遠い世界のことに感じてしまうかもしれませんが、特別なことは必要ありません。毎日の暮らしの中で、障がいを抱える方との関わりの中で、さまざまな問題について考えるだけでも、未来を変えることにつながっていきます。

福祉課 ☎34-1114

デジタル技術で利便性向上

巨理町初！地域活性化起業者

10月21日、「巨理町とリコージャパン株式会社との『地域活性化起業者』派遣に関する協定締結式」が執り行われました。

地域活性化起業者制度は、三大都市圏に所在する企業などの社員が、そのノウハウや知見を活かし、一定期間、地方自治体で、地域独自の魅力や価値の向上、地域経済の活性化、安全・安心につながる業務に従事することで、公民連携により、地方圏へのひとの流れの創出を図る総務省の制度です。本協定の締結により、同社より派遣された猪股秀敏主幹と米富伸行主幹が11月1日付けで着任し、デジタル技術を活用した業務効率化や住民サービスの向上を目的とするデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する業務にあたります。

山田町長は「職員のITリテラシーの向上、デジタルデバイス対策などに従事するとともに、本町のDXに関する全体的な方針の施策について尽力してほしい。」と話しました。



地域活性化起業者として企画課に配属された猪股主幹（左）と米富主幹（右）

きれいな「まち」へ

地域清掃活動

10月30日、町内の建設業者14社で構成される巨理町災害防止協議会が農道悠里線で歩車道ブロック周りの草刈り作業やごみ拾いを実施しました。

これは、町民のみなさんに気持ちよく同線を通行してもらいたいとの思いから同会が定期的に実施しているものです。

同会の千石会長は「今後も清掃活動を行い、まちをきれいにしていきたい。」と話しました。



ありがとうございます

上野株式会社より新型コロナウイルス感染症防止用品の寄附

上野株式会社より布マスク700枚、手指アルコール消毒液120本が寄附されました。

結城組株式会社より町の各種事業に対して寄附

結城組株式会社より10万円が寄附されました。



（公財）ブルーシー・アンド・グリーンランド財団より防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業支援金決定通知書が授与

災害発生時の緊急対応などの際に必要な資機材を整備するための費用として、同財団から3年間で最大で3千900万円の助成が決定され、支援金決定通知書が授与されました。



いつまでもお元気に 数え100歳のお祝い

数え年100歳を迎えた小野とも子さん（開墾場・大正11年10月22日生）に特別敬老祝金や祝詞、花束が贈呈されました。

小野さんいつまでもお元気で。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本人との面会は控えました。

「夢みる乙女」
12/1 販売開始 (数量限定)
税込 1,240円 (箱入り 1,270円) ALC.5%未満

いちの生産地である巨理町、その「わたりいち」を贅沢に使用し、さっぱりとした甘さと、高貴ないちの香りが、口いっぱいに広がる美味しいワインです。

販売店：巨理町内酒販店及び町外一徳店
【お問い合わせ先】 巨理町観光協会 TEL.0222-34-0513